

2025年1月12日

◎令和7年 東大和市消防出初式

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

新春にあたり東大和市消防団の出初式が、挙行されました。

本年度も式典前に消防車両のパレードがあり、その後東大和市 Rond 桜が丘フィールドにて、表彰や消防演技が披露されました。肌寒い曇り空の半日でしたが、多くの市民の方々が式典の様子を見学されました。

又、東大和市消防団第七分団では、本年も昨今の状況を考慮し出初式式典は行わず、受付のみとされました。当防災協議会ははじめ、お世話になっている近隣自治会・管理組合や商店街の方々が、ご挨拶に伺いました。



★市内パレード(8:20~9:20)



東大和市立第二小学校を
消防車両9台が出発。
1時間ほどの市内パレード
を行いました。



★消防出初式(パレードに続き、式典9:50~12:15)

(番号はP11の「式次第」に従って)

1. パレード

2. 入場行進(指揮:尾崎副団長)





3. 整列

4. 開式の辞

(目黒副団長)



5. 国旗掲揚



6. 団旗奉迎

(野口副団長)



7. 人員及び機械器具の報告



8. 市長式辞 (和地市長)



9. 団長訓示 (並木団長)



10. 市議会議長挨拶 (東口市議会議長)



11. 消防署長挨拶 (田中北多摩西部消防署長) (代読: 西山副署長)



12. 表彰

(1) 東京都三多摩消防団連絡協議会長表彰

優良表彰(第四分団)



(2) 東京消防庁北多摩西部消防署長表彰

① 優良表彰(第三分団、第六分団)



② 応急救護指導活動功労表彰(内野第六分団部長、渡邊女性部団員)



(3) 東大和市長表彰

① 功績表彰(関田第三分団長、大森第七分団長)



②竿頭綬表彰(第一分団)

③永年勤続表彰 20年(尾崎本部副団長)



(4)東大和市消防団長表彰

①永年勤続表彰 35年(上岡第七分団班長)



②永年勤続表彰 20年

③永年勤続表彰 15年

④永年勤続表彰 10年

⑤精勤表彰

⑥退団者感謝状

13. 観閲



14. 消防演技に伴う隊形移動

15. 車両分列行進

本部



やまとなでしこ



第1分団



第2分団



第3分団



第4分団



第5分団



第6分団



第7分団



特別消火中隊



災害時三隊
①災害時ポンプ隊



災害時三隊
②機動二輪隊

災害時三隊
③特別活動隊



16. 消防演技(一齊放水)



放水準備



放水

消防少年団



17. 整列



18. 来賓祝辞



19. 団旗送還



20. 国旗降納



21. 閉式の辞(野口副団長)



式 次 第

(1) バレード	目黒副団長 指揮
(2) 入場行進	尾崎副団長 指揮
(3) 整 列	尾崎副団長 指揮
(4) 開式の辞	目黒副団長
(5) 国旗掲揚	尾崎副団長 指揮
(6) 団旗奉迎	野口副団長
(7) 人員及び機械器具の報告	並木団長、他
(8) 市長式辞	和地市長
(9) 団長訓示	並木団長
(10) 市議会議長挨拶	東口市議会議長
(11) 消防署長挨拶	田中北多摩西部消防署長
(12) 表 彰	表彰代表者等
(13) 観 閲	
(14) 消防演技に伴う隊形移動	尾崎副団長 指揮
(15) 車両分列行進	目黒副団長 指揮
(16) 消防演技（一斉放水）	野口副団長 指揮
(17) 整 列	尾崎副団長・目黒副団長 指揮
(18) 来賓祝辞	
(19) 団旗送還	野口副団長
(20) 国旗降納	尾崎副団長 指揮
(21) 閉式の辞	野口副団長

※雨天時は一部変更します。

★東大和市消防団 第七分団

1. 受付(出初式式典は中止)



2. 第七分団では次の方々が、表彰されています。

(1)東大和市長表彰

①功績表彰： 大森第七分団長

(2)東大和市消防団長表彰

①永年勤続表彰 35年： 上岡班長(消防団史上2人目)

②永年勤続表彰 20年： 西川団員

③精勤表彰： 竹田班長、寶田団員、高田団員

東 大 和 市 消 防 団 の 現 況

東大和市消防団は、本部（正・副団長）を中心に、7個分団（第一分団15名、第二分団16名、第三分団13名、第四分団17名、第五分団12名、第六分団19名、第七分団14名）及び女性部（「やまとなでしこ」）6名で組織し、現在116名の消防団員で活動しています。

機械装備の配備状況は、本部指揮車1台、広報車1台、各分団に消防ポンプ車1台、計9台の車両が配置されています。

さらに、山林火災や大規模災害に備え、より機動力を発揮するため可搬式ポンプ及び発電機が全分団に配備されています。

こうした現有装備を有効に活用し、市民の生命・財産を守るため、日夜訓練を実施しています。

また、防災活動として、従来からの警戒活動などの他、自治会や地域防災組織で行われる防災訓練で、初期消火訓練、AEDを使用した応急救護訓練の指導を数多く行い、市民の災害対応能力のレベルアップに努めています。

東大和市消防団では、大規模災害時における消防団のあり方について検討を行い、平成20年4月に『災害時ポンプ隊・機動二輪隊・特別活動隊』の災害時三隊を発足させました。

《災害時三隊の特徴》

①災害時ポンプ隊

同時多発的に発生した火災に対応するため、配備されている資機材を最大限活用することを目的に発足しました。各分団のポンプ車で対応しきれない場合に団員所有の貨物車等に必要な資機材を積載し、第二ポンプ隊として活動します。

②機動二輪隊

大震災の発生に伴い、建物の倒壊、道路の損壊等により、市内の被害状況の把握が困難な場合に、機動力に優れた二輪車を活用して情報収集することを目的として発足しました。団員所有の二輪車2台1組で受持区域の情報を収集します。

③特別活動隊

大震災の発生に伴い、多くの建物が倒壊し、下敷きになっている要救助者があ
る場合に、団員個々の特殊技能や団員所有の資機材（重機等）を活用して、一人でも多くの人命を救助することを目的に発足しました。消防団本部は、被害状況により有資格者及び資機材（重機等）を選定、招集し、担当副団長を総指揮者として活動します。

＜ 構 成 ＞

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	総 数
団員数	1	3	7	7	15	15	68	116

令和6年
東大和市消防出初式



と き・令和6年1月7日（日）

午前9時50分開式

ところ・東大和市 Rond桜が丘フィールド

以上